

## 大阪はびきの医療センター経営改善支援業務仕様書

### 1 委託名

大阪はびきの医療センター経営改善支援業務

### 2 目的

大阪はびきの医療センター（以下、「センター」という。）に対し、地域医療政策及び市場動向等の専門的知見から内外環境の分析を行い、地域医療政策と整合した持続可能な医療提供体制の構築及びセンターの経営、運営状況の改善を支援するものである。あわせてこの実現にむけて、センター職員への病院経営に係る意識の浸透にむけた支援ならびに高度な DPC データ分析等に基づく提案とその実行支援を求めるものである。

### 3 履行期間

契約締結日（令和 6 年 10 月 1 日を想定）から令和 7 年 3 月 31 日までの期間

### 4 業務内容

センターの経営アドバイザーとして、実績を有するコンサルタントを派遣し、経営実績や診療実績等を踏まえ、経営、運営状況の分析、評価を行い、センターの経営戦略や経営計画の立案を支援するとともに、自ら経営改善の取組みを推進する。業務の履行に当たっては、調査・分析・提言に留まらず、会議への出席、資料作成等を通じて、センター職員と協働しつつ、経営改善に向けた調整及び折衝を行う。

#### (1) 経営分析の実施及び説明対応

- 月次稼働状況の分析及びセンター内会議等における説明
- DPC データ、医事データ等を活用した経営分析、外部環境・内部環境分析
- 公開データ等を活用した他病院とのベンチマーク分析
- その他病院経営に係る調査・分析

#### (2) 経営改善の推進

- センター提供資料やセンター幹部・現場へのヒアリングを通じた経営・運営上の課題整理
- 患者数増加に向けた取組み（地域連携に関する現状把握、集患対策など）
- 単価向上に向けた取組み（加算・指導料等の算定強化、DPC 係数対策など）
- 生産性向上に向けた取組み（職種別生産性ベンチマーク、業務の標準化・効率化など）
- 上記実施に係る資料作成及びセンター内での説明の実施
- コンサルタント自らによる調整、折衝を経た具体的経営改善の実施
- その他、経営改善に必要なデータ分析、提案及び実行支援

#### (3) センターの短期・中長期計画の立案及び進捗管理の支援

- 外部環境（国や大阪府等の医療政策、地域医療構想、将来的な疾患別患者動向等）ならびに内部環境を踏まえたセンターの病床機能や病床数、目指すべき姿等についての提言、実現にむけての具体的取組みの提案及び実行支援

#### (4) 地域の関係機関（医療機関、介護保険施設、救急隊、地元市町村）等との連携強化の支援

○センター組織内（主に地域連携部門（患者総合支援センター））の業務改善

○地域の関係機関に対する訪問営業等の実施の支援

(5) センター広報戦略の立案及び広報活動支援

○広報計画の作成及び広報活動への支援

(6) その他

○業務ごとにセンター職員と協議のうえ優先順位を決定し、センター内にてセンター職員と協働しつつ、自ら改善等の活動を実行するとともに、センター職員の取組みへの支援を行う

○必要に応じて、業務の目的に資する会議、委員会等への参画と改善提案を実施する

○知識や業務の進め方等について、将来的にセンター職員自らが経営改善や地域連携の取組みを推進できるように助言、支援、仕組みの構築等を行う

## 5 業務手順及び経費負担

前項の業務内容に基づき業務を進めるものとし、受託者は、業務の進め方について、より効率的かつ効果的と考えられる方法を提案し、センターの承認を得て実行する。ただし、センターが変更を求めた場合は、業務の進め方を変更するものとする。

また、本業務の実施に当たり必要となる経費は受託者の負担とする。ただし、広報物作成の印刷に係る経費はセンターにおいて負担する。

## 6 実施体制

(1) この業務を円滑に遂行するに当たり必要な作業の方法、人員配置、工程等について、適切かつ詳細な作業実施計画書を作成し、センターの承認を得ること

(2) 受託者は、本業務を指揮する管理責任者を配置すること。また、管理責任者は、やむを得ない場合を除いて変更しないこと。なお、受託事業者は、契約締結後速やかに、管理責任者の氏名等をセンターに通知すること

(3) 管理責任者は、過去3年間で、300床以上の公立又は公的医療機関（急性期病院に限る）の経営支援業務及び地域連携支援業務を受託した実績が3件以上あり、同業務を十分理解したうえ、これに対応できること

(4) 本業務に従事する者は、厚生労働省等が一般に提供する過年度データのみならず、DPC 経営改善支援ツール（「病院ダッシュボードX」、「girasol」等）の活用によるリアルタイムデータでの他病院とのベンチマークに基づく経営改善の手法及びそれに伴う資料作成等の提案を行うこと

## 7 成果物

業務実施に伴い作成した資料等の成果物については、作成次第その都度、書面で提出するものとする。また、書面作成の基となったデータの提出も行うこと。

## 8 情報データ等の取扱い

(1) 情報データ等の取扱いに当たっては、関連法規及び大阪府立病院機構が定める情報管理に係る各種規程（別紙）を遵守すること

(2) センターから交付する情報及びデータ並びに本業務の遂行上知り得た情報及びデータは、本業務を遂行する目的

にのみ使用することを条件とし、受託者は情報及びデータが第三者に漏洩しないよう、自己が秘密として管理する情報及びデータと同等の注意をもってこれを取扱い、情報及びデータを本業務の目的以外の目的で利用、複写又は複製しないものとする

- (3) 成果物及び作業中における個人情報印刷物や書類等に関する一切の権利は、センターに帰属する。また、これら成果物等の第三者への提供や内容の転載については、センターの承諾を必要とする
- (4) 受託者は、本業務の遂行上知り得た秘密（個人情報を含む。）を、他に漏らしてはならない。また、委託契約終了後も同様とする
- (5) コンプライアンス（法令遵守）、プライバシー（個人情報）保護、情報セキュリティへの取組を徹底すること

## 9 その他

業務の履行に当たり疑義が生じた事項やこの仕様書に定めのない事項については、センターと受託者との協議のうえ、決定することとする。